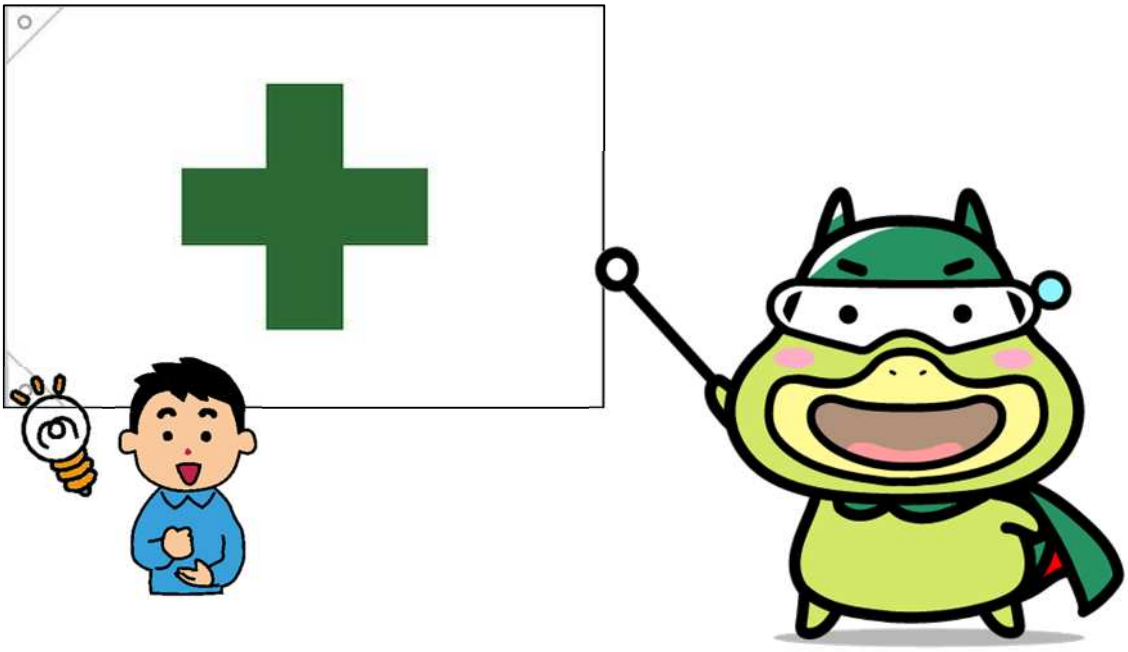
労働災害防止のための安全管理活動好事例集

第3集



募集期間：令和7年5月1日～7月31日分

令和７年８月

岩手労働局　一関労働基準監督署

はじめに

日頃より、労働災害防止対策を推進しながらお仕事に励まれていることに感謝申し上げます。

さて、労働災害はあってはならないものであり、誰もが労働災害で被災したくないものですが、当署管内では本年も死亡労働災害が発生するなど重篤な労働災害が撲滅していないこと、休業４日以上の労働災害は近年増加傾向に転じていることといった状況があります。とくに、転倒災害が多いこと、高年齢労働者による労働災害が多いことといった特徴も見られます。

このため、各社での一層の労働災害防止への取り組みをお願いしているところですが、各社においても日頃から災害防止活動に取組んでいる中でのさらなる取組強化には実践及び効果共に限界があり、安全管理活動の幅を飛躍的に向上させるためには新たな考え方や取組方法（他社の好事例）を知ることが起点にできる可能性があります。

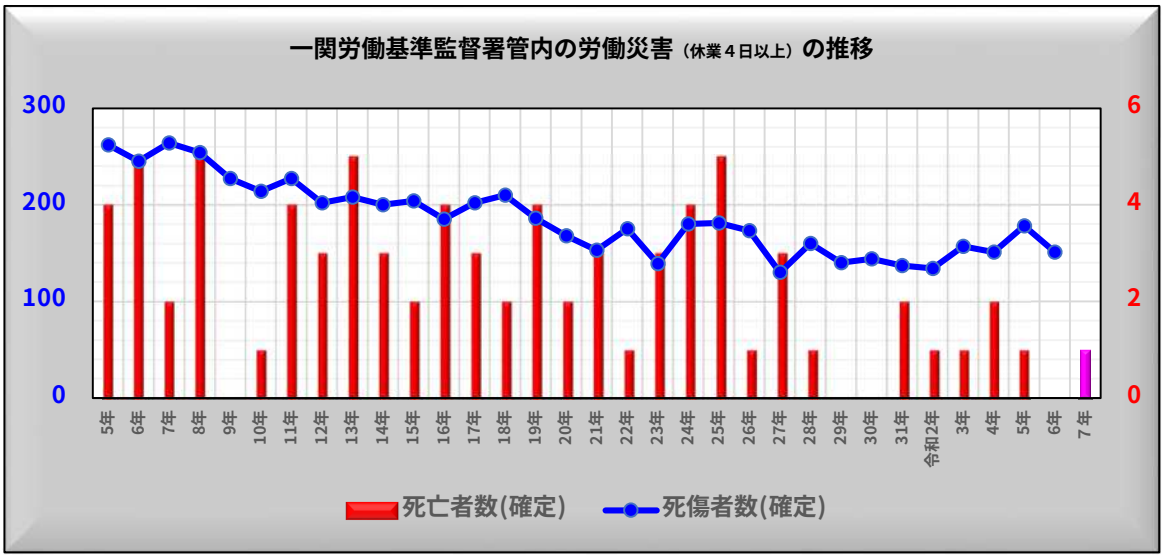
当署管内には安全管理活動に積極的に取り組んでいる事業場、有効な管理手法により管理活動に取り組んでいる事業場が多数あります。

このため、好事例を持っている事業場に安全管理の手法（事例）の提供をお願いし、これを管内の事業場に水平展開することにより、管内における安全管理意識の向上に寄与できると考え、第３回目として事例提供のお願いを幅広く行ったところ、今回も多数の事例を収集することができました。

いただいた事例につきましては、本資料のとおり事例集としてまとめました。

管内の事業場の皆様に目を通していただき、安全管理活動のご参考にしていただければ幸いでございます。また、この事例集を契機に労働災害が減少することを期待しております。

令和７年８月　一関労働基準監督署長



☑総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
☑効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　☑安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱日ピス岩手　様　　**業種：製造業（輸送機器製造業）**

事例１　安全サークル活動（教育・訓練活動）

【取組内容】

全社の各職場にて10名程度の小集団（安全サークル）を編成し、安全に関する教育・訓練を月1回、30分程度で全従業員が参加する活動。

安全サークル議事録

部署名

事務局　承認　確認　作成者

サークル名　開催日時　参加者　名

①安全健康現場部からの指示事項　②労災火災関係　③KYT　④HH　⑤意見集約　⑥その他

参加者名

主な内容

- **労働災害、交通事故の情報共有と対策横展開**
- **ヒヤリハットの吸上げと話し合い**
- **現場の実作業などのイラストシートを使い、KYT4ラウンド法の実践**
- **その他 避難経路確認・集塵機爆発事故・電気火災・熱中症対策など**

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
☑効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　☑安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱日ピス岩手　様　　**業種：製造業（輸送機器製造業）**

事例２　道場リニューアルによる安全意識高揚

【取組内容】

以前から安全道場は設置され、教育を実施していたが、活動にマンネリが見られ、エリアも経年劣化していた。

そこで、床を緑色、白線を綺麗に再塗装しリニューアルを図った。

また教育しやすいように表示物を掲示するボードを内製で設計、製作した。

エリアは、伝承・体感・教育の　3エリア　で構成し、従業員の安全意識高揚を図る！！

■伝承エリア：過去の重大災害を伝承し、風化させないための設備を使用し、実機で危険個所を学ぶ

■体感エリア：挟まれ、巻込まれ体感機、重量物運搬模擬、落下衝撃体感機など10台の体感機を設置

■教育エリア：座学による各種教育の実施やVR消火訓練、DVD視聴エリアを設置　など

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
☑効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　☑安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱日ピス岩手　様　　**業種：製造業（輸送機器製造業）**

事例３　ＶＲ体感訓練

【取組内容】

　全従業員660名を対象としたVR体感訓練を行いました。
　目的は、危険感受性の向上、ヒューマンエラー防止による労働災害の撲滅です。
　業種特有災害である挟まれ・巻込まれや転倒・躓き、粉塵爆発など6事例から不安全行動のポイントを学んでもらいました。
　受講後は、アンケートをとり、びっくりした！他の事例も体感したい！との意見もあり、毎年事例を変えて継続して行う予定です。
　2025年度は墜落、フォークリフト、歩きスマホの事例を新規追加して計画。

【その他、取組み始めたきっかけや費用の目安なども可能であれば教えてください。】

　過去より過去トラ類似設備による災害体感機訓練は実施していましたが、リアリティに欠けること。
　また何度も繰り返し行うため、内容の変化が乏しくマンネリの風潮があったこと。

□総括的な安全管理の方法　☑転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：　　ー　　様　　業種：老人介護

事例４　暗い朝夕夜間の足元対策

【取組内容】

駐車場へ行く通りの足元が暗くて不安なため、人感センサーライトを設置する。

＜改善前＞

＜改善後＞

□総括的な安全管理の方法　☑転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　☑その他（自由）
☑業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：ニッコー・ファインメック㈱　様　　**業種：産業廃棄物処理業**

事例５　躓　き　対　策

【取組内容】

パソコン・業務機器を解体して、基板・非鉄金属（アルミ、ステンレスなど）をフレコン袋に入れて、分別管理していますが、入れる量により、フレコン袋がだれてきて、ヒモが通路にはみ出し、歩行した際に、足に引っ掛かるヒヤリ・ハットが発生していました。

対策として、L型アングルにプラダンを取り付けてカバーにし、注意書きを貼り付け、対策を実施しました。

＜改善前＞

＜改善後＞

【その他、取組み始めたきっかけや費用の目安なども可能であれば教えてください。】

カバー１枚当たり

プラダン	@261
アングル（4本）	@800
ネジ・ナット	@221

計１,282円となります

□総括的な安全管理の方法　☑転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」などの注意行動への取組み　□熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策

事業場名：㈱平野組　様　　**業種：建設業**

事例６　養生カバーと仮設安全通路の活用

【取組内容】

- 転倒災害を防止するため、安全通路上の立上り鉄筋上部に養生カバーを図（改善後）のように配置しました。特に雨天時や夕暮れ時は場内の照明だけでは、立上り筋と土間鉄筋の区別がしにくい状況（図-改善前）でしたので、養生カバーを配置して鉄筋の「見える化」を図りました。
- また安全通路には鉄製の仮設安全通路の代わりに、プラスチック製仮設安全通路（オレンジ色）を使用し通路を明確にすることで、転倒災害の防止に努めました。

費用は、養生カバー（アントラビタット）が購入価格540円/個（税別）で、仮設安全通路（オーエスマット）のリース料金が1個当たり580円／月（税別）になります。

□総括的な安全管理の方法　☑転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　☑高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
☑業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：　　ー　　様　　業種：製造業（紙パルプ用、工業用フェルト製造業）

事例７　後方への足の踏み外しによる墜落防止対策

【取組内容】

作業者が移動する渡り通路に転落防止の柵を設置。

＜改善前＞

＜改善後＞

【その他、取組み始めたきっかけや費用の目安なども可能であれば教えてください。】

製品監視作業となり製品の方に目が向くため、後方への踏み外しによる落下や転倒の防止目的。

高さは50cmですが、従業員の高齢化もあり安全性を高める取り組みです。

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　☑その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱日ピス岩手　様　　**業種：製造業（輸送機器製造業）**

事例８　フォークリフトLEDライト

【取組内容】

リスクアセスメント改善事例　フォークリフト接触防止

NPR Ring the Future

改善前

材料の搬入等でフォークリフトを使用するが、人と車輌の区域を完全に分離することが難しく、接触するリスクがあった。

危険の重大性	作業の頻度	発生の可能性	リスクレベル	リスクランク
6	1	2	9	Ⅲb

改善後

フォークリフトの可動域をＬＥＤライトで可視化することで接触リスクの低減を図った。

危険の重大性	作業の頻度	発生の可能性	リスクレベル	リスクランク
6	1	1	8	Ⅲb

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　☑その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱日ピス岩手　様　　**業種：製造業（輸送機器製造業）**

事例９　重　筋　対　策

【取組内容】

リスクアセスメント改善事例　ドラム缶重筋対策

NPR Ring the Future

改善前

油補給のため、ドラム缶をホイストで傾動させる必要があったが、スリングが外れ落下させる恐れがあった。

危険の重大性	作業の頻度	発生の可能性	リスクレベル	リスクランク
2	1	4	7	Ⅱc

改善後

ドラム缶反転機を準備したことで移動、傾動が安定し落下するリスクが低減された。

危険の重大性	作業の頻度	発生の可能性	リスクレベル	リスクランク
1	1	1	3	Ⅰd

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　□熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　☑その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱日ピス岩手　様　　**業種：製造業（輸送機器製造業）**

事例10　騒音対策事例

～　油圧プレス　防音カバーを内製で設計・設置　～

【取組内容】

リスクアセスメント改善事例　油圧プレス騒音対策

NPR Ring the Future　9

改善前

開口面が広く、圧入時に発生する
金属同士の摩擦音が激しい

97.7dB

危険の重大性	作業の頻度	発生の可能性	リスクレベル	リスクランク
6	2	2	10	Ⅲb

改善後

防音材で包囲したことで
騒音発生源を遮断

87.3dB

危険の重大性	作業の頻度	発生の可能性	リスクレベル	リスクランク
2	2	2	6	Ⅱc

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　☑熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱日ピス岩手　様　　**業種：製造業（輸送機器製造業）**

事例11　暑熱対策への取り組み

【取組内容】

- 熱中症者が出た場合の連絡体制・報告フローを作成。応急手当方法含めて全従業員へ教育実施。
- スポットクーラーを利用したクーリングブースを内製で設計、製作（暑熱職場）。
- 涼しい室内で休憩、冷蔵庫を置き冷たい飲料を給水できる椅子を準備
- 空調服の配布（暑熱職場）
- アイススラリー、塩飴、飲料水の配布
- 6～9月WBGT測定・数値を現場表示。28度超えた場合には、職場へアラートメールを連絡。

クーリングブース

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　☑熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱平野組　様　　**業種：建設業**

事例12　熱中症対策に関する取り組み

【取組内容】

①・熱中症対策テントの設営。
- ①-1・充電式ミスト扇風機の設置。（35,000円/基（税別））
- ①-2・充電式保冷温庫（容量20ﾘｯﾄﾙ）の設置。（57,000円/台（税別））
- ①-3・充電式扇風機の設置。（10,000円/基（税別））

その他に、熱中飴、ボディーシート、製氷機、経口飲料、熱中症対策キットを配備し熱中症対策に努めました。作業員の皆さんからの評判も良く、熱中症を予防して、竣工を迎えることが出来ました。

□総括的な安全管理の方法　□転倒災害防止　□「指差呼称」や「一人ＫＹ」　☑熱中症対策
□効果的な安全教育のやり方　□高年齢労働者の労働災害　　などの注意行動への取組み　□その他（自由）
□業種特有の危険への対策　　防止への配慮　□安全意識の高揚を図る取組み

事業場名：㈱平野組　様　　**業種：建設業**

事例13　熱中症対策に関する取り組み

【取組内容】

熱中症対策用のAIカメラシステム「カオカラ」を使用し暑熱リスクを可視化し、熱中症の重篤化予防に努めました。

使用期間中、熱中症が高リスクと判定された作業員は、いませんでしたが作業中、定期的に熱中症リスクを確認してもらうことで、熱中症対策に役立てることが出来ました。

カオカラの特徴

- 顔の変化（顔色、表情、発汗）をAIが解析。
- WBGTと顔の状態を組み合わせで判断し、リスクを4段階で表示。（下図）
- 高リスクと判定された場合、管理者（現場職員）にアラートが送信。
- 専用タブレットを使用するだけで運用可能。
- 費用は、リース料金が90,000円/月。

以上、５社から13事例のご提供ありました。
事例提供くださった事業場の皆様には感謝申し上げます。
この事例集をご覧になっている皆様の職場で事例の展開をしていただきますようお願い申し上げます。

(令和７年８月)